

### 1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	基本情報技術システムⅢ	配当学年	2
講義名 (コード)	基本情報技術システムⅢ(DB)	単位数	4
対象学科	GB	時間数	60
対象コース	DB	講義期間	春学期
専攻		履修区分	選択
授業担当者	鈴木祥夫	授業形態	講義
成績評価教員	鈴木祥夫	実務者教員	実務者
実務者教員特記欄	本講義は、実務者教員による授業である。		

### 2. 本授業科目の概要

目的 (位置づけ)	把握が難しいデータベースを理解することにより、データベースの重要性や利用方法を検討できる力をつける。
到達目標	RDB使ってみてDBに対する理解を深める。
全体の内容と概要	テキストを使った講義を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	PupSQLite,SQLiteを使用する。
特記事項	

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	実社会におけるDBの重要性、情報システムの発展とDB
2	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベースモデルの概要 階層型、ネットワーク型、関係型（RDB）、オブジェクト指向型
3	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	DBの設計手順、実体関連モデル（ER図）
4	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	トランザクション データベースの一貫性を保証するトランザクションを理解する。
5	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	RDBの正規化 正規化の目的や必要性、第1正規形～第3正規形、候補キー
6	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 SQL（DDL、DML、DCL）
7	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 PupSQLiteの導入(H/O)
8	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 SQLiteを用いたDMLの実習1
9	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 SQLiteを用いたDMLの実習2
10	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 SQLiteを用いたDMLの実習3
11	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベース用のプログラミング言語 SQLiteを用いたDMLの実習4
12	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	DBMSの制御機能 排他制御、デッドロック、ロールバック
13	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	データベースの3層スキーマ構造
14	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	まとめ
15	IT Specialist 講師 鈴木 祥夫	期末試験

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	・本教員は大手IT企業においてSEとしてソフトウェア開発、アプリケーション開発等に従事し、現在は学校等の高等教育機関にて指導を展開している。